

令和7年度 事業報告書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

令和7年度 公益財団法人明石文化国際創生財団事業報告書

I. 公益目的事業

公1 文化芸術推進事業

公2 国際交流推進事業

II. その他事業等

他1 明石フィルハーモニー支援事業

令和7年度は、当財団が明石の文化芸術及び多文化共生を推進する組織としてさらに認識され、職員全員の意識を高めることができるよう、パーパス、ミッション、ビジョンを策定し、組織としてのステップアップを図りました。

この取り組みが功を奏したこともあってか、社会情勢の不安定化や物価高騰などによる事業への影響が懸念されるなかではありましたが、概ね予定していた事業を行うことができました。

文化芸術推進事業については、特に次世代の育成に力を入れました。具体的な取り組みとして、小学校の生徒に本格的な文化芸術の鑑賞機会を提供するため、オーケストラやオペラ団の学校派遣を実施したほか、子ども伝統芸能教室や中高生ジャズバンドの運営をはじめとする、地域での子供たちの文化活動の場づくりにも取り組みました。

また文化芸術に関する地域の間接支援組織として、市民の文化芸術活動を応援するため、相談、広報、助成金、伴走支援など、活動者のニーズに合わせたきめ細かな中間支援業務に取り組みました。

そのほか、コンサート・演劇などの舞台芸術公演及び各種美術展など作品の展示といった誰もが身近に文化芸術に親しめる機会の提供を続けるとともに、美術作品や文芸作品の公募コンテスト、明石市芸術祭などのイベントを通じ、市民が日ごろの活動成果を発表する場の提供にも努めました。

次に国際交流推進事業では、引き続き在住外国人への支援を中心に事業を進めました。近年市内在住の外国人が増加し、当財団の取り組みも徐々に浸透するなか、日本語学習会「いろはクラブ」を利用する外国人が増えています。そのため、日本語学習支援ボランティアの育成を進めるとともに、専用の学習室に加えてウィズあかしの貸館を活用するなど、学習機会の確保に努めました。

また、在住外国人向けには外国人同士の交流会や災害時の避難など日本での生活について学んでいただくための講座を開催し、日本人に対しては、在住外国人のアイデンティティなどをより深く理解できるよう、各国の文化や生活を学ぶ国際理解セミナーを開催しました。

事業の詳細については以下に記載します。

I. 公益目的事業

公1 文化芸術推進事業

心豊かで潤いと安らぎのある地域の実現に向け、誰もが良質な文化芸術にふれられる機会の提供に努めるとともに、市民の文化芸術活動を支援するため、以下の事業を推進しました。

1 文化芸術事業の開催

幅広い分野の文化芸術イベントや明石ゆかりの美術作家の作品展を開催して市民への鑑賞機会の提供や、創作活動を行っている個人・グループへの支援を行いました。

(1) コンサート等

① あかしふれあいコンサートの開催

音楽を通じたまちの賑わいづくりや次世代育成の一環として、中学校・高校の吹奏楽部によるまちかど演奏会を計6回開催し、広く市民に鑑賞機会を提供しました。

[開催日及び出演者]

- 4月12日(土) 大久保中学校吹奏楽部 40人
- 6月21日(土) 望海中学校吹奏楽部 77人
- 8月30日(土) 大蔵中学校吹奏楽部 46人
- 9月13日(土) 大久保北中学校吹奏楽部 75人
- 1月31日(土) 明石北高校吹奏楽部 56人
- 2月21日(土) 錦城中学校吹奏楽部 22人

[開催場所] あかし市民広場、市民会館中ホール

[聴衆] 延べ約1200人

② ひとつぶのたねクラシックコンサート

愛好家の減少が指摘されるクラシック音楽を多くの市民に楽しんでもらうとともに、明石ゆかりの若手音楽家に活動の場を提供することを目的に、年6回、ワンコインでの演奏会を開催しました。

[開催日及び出演者]

- 5月10日(土) 戸川晃子ピアノリサイタル～名曲で綴る音楽の世界～
- 7月12日(土) 百音百彩(ひゃくねひゃくさい)～Juicy'sが彩る音百景
- 9月13日(土) 松田緑ソプラノ・リサイタル～ウィーンの風にのせて～
- 11月8日(土) ムジカライゼ～シアーシャが奏でるアイリッシュの世界～
- 1月10日(土) 鎌倉結衣&田中音羽デュオコンサート
～ピアノ連弾で奏でるオーケストラの名曲～
- 3月14日(土) アンサンブル135～マイ・ウェイ～

[開催場所] 子午線ホール、西部市民会館ホール、市民会館中ホール

[入場者] 総計969人

③ 佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団明石公演事業

佐渡裕氏指揮・兵庫芸術文化センター管弦楽団によるコンサートを開催し、プロのオーケストラによる本格的なクラシック演奏が鑑賞できる機会を広く市民に提供しました。

また当日の午後には、佐渡裕氏が高丘東小学校を訪問し、同校児童約130人に特別授業を行いました。

[開催日] 9月18日(木)

[開催場所] 市民会館大ホール

[出演者] 佐渡裕氏と兵庫芸術文化センター管弦楽団

[入場者] 997人(親子招待席の160人含む)

④ 吹奏楽の夕べ（明石市芸術祭）

市内で活動する吹奏楽団体が一堂に会し、広く市民が音楽を楽しむことができる演奏会を、明石市芸術祭事業の一環として開催しました。

〔開催日〕 8月24日(日)
〔開催場所〕 市民会館大ホール
〔出演者〕 中学・高校・一般の吹奏楽部、吹奏楽団29団体
〔来場者〕 延べ約2200人

⑤ 音楽のつどい（明石市芸術祭）

明石市芸術祭事業の一環として、市内外で活動する合唱団体が一堂に会して本公演を開催し、広く市民に日頃の練習成果を披露しました。

〔開催日〕 11月3日(月・祝)
〔開催場所〕 市民会館大ホール
〔出演者〕 市内外で活動する合唱団体25団体
〔来場者〕 延べ1026人

⑥ 明石薪能

歴史と文化の息づく明石のまちで、多くの市民に質の高い伝統芸能の鑑賞機会を提供すべく以下のとおり準備をしていましたが、当日の悪天候のため残念ながら中止しました。

なお、薪能本番前に能舞台上演を予定していた子ども仕舞は、明石公園内の会議室に会場を変更しての開催となりました。

〔開催日〕 10月4日(土)
〔演目〕 能「融〜クツロギ〜」、狂言「茶壺」
〔開催場所〕 明石公園西芝生広場
〔出演〕 上田能楽堂

⑦ 質の高い舞台芸術鑑賞機会の提供

クラシックになじみのない子どもたちにもその素晴らしさを感じてもらい、今後もホールやコンサートに足を運んでもらえるよう、ファミリー世代に人気の高い「ズーラシアンブラス」のコンサートを開催しました。全国的な知名度もあってチケットは即座に完売し、子どもたちは大喜びでショーに見入っていました。

〔開催日〕 3月7日(土)
〔公演内容〕 ズーラシアンブラス「音楽の絵本 エレガンス」
〔開催場所〕 西部市民会館ホール
〔出演者〕 ズーラシアンブラス6名、弦うさぎ2名
〔入場者〕 約500人

(2) 美術展、作品展等

① MERIDIAN ART WAVE

明石にゆかりのあるアーティストによる多彩なジャンルの作品展を開催し、広く市民に美術作品の鑑賞機会を提供しました。また、若手アーティストが市民や他のジャンルの作家と交流できる貴重な機会となりました。

〔開催日〕 9月13日(土)～15日(月・祝)
〔開催場所〕 文化博物館ギャラリー
〔出展者〕 井上広大(イラスト)、岩城裕也(油彩・彫刻)、川尻優子(ガラス)、藤本志帆(日本画)、宮城歩夢(彫刻)、山口大介(油彩)
〔入場者〕 319人

② ギャラリーストリートでの作品展示

アспピア明石南館1階通路の壁面を利用して、明石市や近隣で創作活動を続けている作家らに作品展示の場として提供し、市民が気軽に美術作品を鑑賞できる機会となりました。

[開催期間および出展者]

- 2月28日(金)～5月12日(月)「オバチャン百景 いとしき日常 by スーヅィ」
- 5月14日(水)～6月3日(火)「しみずりお個展 掘り所」
- 6月11日(水)～7月7日(月)「山本萌版画展 溺楽」
- 7月9日(水)～7月30日(水)「三川八重写真展 大雪山 雲上の楽園に憩う」
- 8月1日(金)～8月12日(火)
「おもいでのかげら一砂の上にえがく、たなかしんの世界観―」複製パネル展
- 8月16日(土)～9月5日(金)「とみおみき お絵かき展」
- 9月20日(土)～10月10日(金)
「あさいゆうき個展 アンダンテ～あるくはやさで～」
- 10月15日(水)～11月13日(木)「yoko切り絵展 ～和の世界～」
- 11月16日(日)～12月12日(金)「福西里美個展 やさしくもないけれど」
- 12月16日(火)～1月15日(木)
「現代アート作家 良奈ちはる展―冬のおくりもの―」
- 1月25日(日)～3月3日(火)「Jinta作品展 My Imaginal Histories」
- 3月12日(木)～4月20日(月)「ごとうゆき旅スケッチ展」

(3) 創作活動の発表機会の提供

① 次世代アーティスト支援事業

次世代を担う将来有望なアーティストの活動を支援し、広く市民が多様なジャンルのアート活動に触れることのできる機会につなげました。

○ アートパフォーマンスフェスタ イン あかし

文化芸術のまちづくりを進めるため、多彩な文化芸術事業を楽しめる11月を「文化芸術月間」と設定し、そのメインイベントとして開催しています。「あかCネット」構成団体を始め、多様な分野の新進アーティストが趣向を凝らしたパフォーマンスを展開し、市民が身近に芸術を体験できる機会となりました。会場内には「やさしい日本語」を紹介するパネルを展示するなど、多文化共生の啓発も行いました。

[開催日] 11月22日(土)

[開催場所] あかし市民広場

[出演者] ワークショップ7組、ステージイベント5組

[来場者] 約600人

○ 本気で怖いきもだめし2025 (企画・運営:ヘッドアートプロジェクトチーム)

新しい芸術である「ヘッドアート」を明石から発信し続けているプロジェクトチームへの活動支援として、きもだめしイベントを共催しました。特殊メイクと演技のワークショップによりメイクアートや演劇を身近に感じてもらい、その成果を地元神社のきもだめしで披露することで地域交流の役割も果たしました。

[開催日] 8月3日(日)

[開催場所] 岩屋神社(明石市材木町)

[ワークショップ受講者] 21人

[来場者数] 778人

○ あかしDEミュージカル(町劇Akashiによる演劇ワークショップ「と・し・しゅん!」)

演劇を通して年代を超えた市民交流を推進するとともに、子どもたちの豊かな心と身体を

育む取り組みを進めるなか、市民が気軽に演劇を鑑賞できる機会を提供し、演劇文化の発展・普及を図りました。

- [開催日] 7月26日(土)
- [ワークショップ] 5月～7月の土・日 全23回
- [開催場所] 市民会館中ホール
- [出演者] 小学生から大学生までの13人と地域の劇団員
- [入場者] 220人

○ 若手演奏家クラシックコンサート

明石出身のピアニスト・坂本彩氏のプロデュースによる「明石クラシック室内楽コンサート」を開催しました。国内外で活躍する弦楽奏者を迎え、聴衆育成枠として親子30組を招待するなど、明石におけるクラシック音楽の普及に努めました。

- [内容] 「ドヴォルザークの郷愁 熟練の奏者が織りなす至高の室内楽」
- [開催日] 2月28日(土)
- [開催場所] 西部市民会館ホール
- [出演者] 坂本彩(ピアノ)、黒川侑(ヴァイオリン)、ギオルギ・バプアゼ(ヴァイオリン)、一樂もゆる(ヴィオラ)、上森祥平(チェロ)
- [入場者] 356人

○ 子ども伝統芸能体験

次世代育成の取り組みとして、上田能楽堂の協力を得て中学生以下の子どもを対象に伝統芸能を体験する連続講座を開催しました。薪能当日に本番前に予定していた練習成果発表の場は、悪天候のため会場を明石公園内の会議室に変更して開催しました。

- [開催日] 10月4日(土)
- [開催場所] 県立明石公園内会議室
- [出演者] 23人
- [来場者] 約90人

○ 中高生によるジャズオーケストラ運営事業

今後の部活動の地域展開を見据え、地域で中高生が芸術活動に取り組む場づくりの一つとして、これまで明石になかった中高生によるジャズビッグバンドを立ち上げました。

明石ゆかりのプロ奏者やジャズ愛好家が運営し、本財団と市民会館が支援する共催事業となっており、1年間活動を続けた結果、3月に神戸市で開かれた音楽イベントで初めて演奏を披露する機会を得ることができました。

- [活動日] 4月～3月まで 毎月2回程度(平日・土曜の夜間)
- [活動場所] 西部市民会館のホールまたは練習室
- [メンバー] 12人

○ 家藤正人 ジュニア句会ライブ

児童が文芸に親しみその楽しさを知るきっかけ作りとなるよう、テレビなどでも活躍する俳人の家藤正人氏を講師に迎え、小学生を対象とした俳句イベントを開催しました。

- [開催時期] 8月9日(土)
- [開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし
- [講師] 家藤正人氏
- [参加者] 小学生とその保護者 64人

② 明石市合同芸術祭

芸術祭事業を合同で開催することにより、団体同士のコラボやワークショップを通じてそれぞれの活動の一層の活性化を図るとともに、多くの市民が気軽に芸術に触れられる機会となりました。

[開催日] 10月25日(土)、26日(日)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[出演者] 明石市文化団体連合会に所属する15団体を中心とする文化グループ

[来場者] 延べ約2000人

[主な内容]

○ 民舞と邦楽のつどい

明石三曲協会、明石市民踊団体協議会、明石市民舞踊文化協会による21演目の披露

○ ダンスカーニバル

明石近辺で活動する14団体が演舞を披露

○ いけばな展

11流派による60作品の出瓶(大作15、中作27、小作18)

○ 茶会

市内外で活動する茶道の団体による立礼式茶席

○ 朗読劇

明石高校放送部による明石ペンクラブ大賞受賞作品等の朗読劇

○ いけばな体験、民踊体験、初心者向け吟詠教室

③ アーティスト連携事業

○ アーティスト協会支援事業「アートセッション in 宵宮」

多彩なジャンルの芸術家が繋がり、新たな芸術表現を模索する明石アーティスト協会の活動支援の一環として、岩屋神社秋大祭宵宮での公演を支援しました。布団太鼓練りの際に唄われる伊勢音頭の歴史をテーマに音楽、ダンス、メイクアートを駆使した地域劇を上演することで、現代の芸術と伝統芸能の融合による明石の伝統文化を発信することができました。

[開催日] 10月11日(土)

[開催場所] 岩屋神社(明石市材木町)

[出演者] 明石アーティスト協会

[来場者] 約100人

○ 明石の伝統芸能「日本の伝統文化に親しむ年始め」

市民会館との共催で、市内や近隣で活動する伝統芸能の指導者等による質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供し、後進の育成や伝統芸能に関する市民の理解促進を図りました。

[開催日] 1月11日(日)

[開催場所] 西部市民会館ホール

[出演者] 市内で活動する舞台芸術関係者

[入場者] 約300人

(4) 創作活動のコンテストの開催

① 第72回明石市美術展(明石市芸術祭)

市内外から一般、ジュニア(小・中学生)を対象に作品を公募し、市長賞をはじめとする優秀作品の表彰式と入選作品展を開催して市民の創作意欲の向上を図るとともに、広く市民に美術作品を鑑賞してもらえる機会になりました。

[募集期間] 8月~11月

[応募作品] 一般 洋画、日本画、書道、彫刻・工芸、写真の5部門 305点
ジュニア 書道、絵画の2部門 661点

[開催場所] 文化博物館ギャラリー
[作品展示期間] ジュニア：11月12日(水)～16日(日)
一般前期：11月19日(水)～23日(日) 日本画・彫刻工芸・書道
一般後期：11月26日(水)～30日(日) 洋画・写真
[入場者] 延べ2,704人
[入賞作品] 一般：市長賞、議長賞、美術協会賞 各部門1点
奨励賞 五部門で計40点
ジュニア：市長賞、議長賞、美術協会賞 小・中学生別に各部門1点
[表彰式] 11月29日(土) 文化博物館

② 第52回明石市文芸祭

市内外から一般、ジュニア(小・中学生)を対象に文芸作品を公募し、市長賞をはじめとする優秀作品の表彰式を開催するとともに入賞作品集「ことのはものがたり」を発行し、市民の文芸への関心を高め、創作意欲の向上を図りました。

今回から一般の部のWEB申し込みも応募料500円が必要となった影響で、応募数が前回より約1200点減少したものの、ジュニアの部では同数程度の増加がありました。

[募集期間] 7月1日(火)～9月2日(火)
[募集作品数] 一般 俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門1488点
ジュニア 俳句、川柳、短歌の3部門3593点
[入賞作品] 一般 市長賞、議長賞、教育長賞、神戸新聞社賞(各部門1点)、
実行委員会賞(各部門3～5点)
ジュニア 市長賞、議長賞、教育長賞、神戸新聞社賞(小・中学生別に各部門1点)、
実行委員会賞(小・中学生別に各部門7～8点)
[表彰式] 3月21日(土) 子午線ホール

③ 名刺デザインコンテスト

若手アーティストの発掘・育成を目的として、明石高校美術科の生徒を対象に名刺デザインを募集しました。最優秀賞は財団職員の名刺台紙として活用しており、さらに上位3作品を名刺フォーマットとして財団ホームページで公表しています。

(5) 学校での文化芸術の鑑賞機会の提供

① 学校等へのたこフィル派遣事業

明石フィルハーモニー管弦楽団(たこフィル)を市内学校へ派遣し、良質な音楽の生演奏を子どもたちに提供したほか、市内福祉施設での生演奏も行いました。

[派遣先] 市内の小学校5か所、市内福祉施設2か所

[派遣アーティスト] 明石フィルハーモニー管弦楽団(オーケストラ、アンサンブル)

② 学校へのオペラ上演事業

明石弦楽オペラ会を市内の学校へ派遣して音楽鑑賞会などでオペラを上演し、子どもたちに生の文化芸術に触れる機会を提供しました。インフルエンザの学級閉鎖の影響で1か所の派遣ができなくなり、最終的に2か所への派遣となりました。

[派遣先] 市内小学校2か所

[派遣アーティスト] 明石弦楽オペラ会(歌手5人程度、弦楽四重奏4人)

2 文化芸術活動支援事業

地域の文化芸術の中間支援組織として、市民やアーティスト、文化団体、行政とのコーディネーターやプラットフォーム機能の提供により、多様な担い手の緩やかなネットワークの形成に努めました。また、市民やアーティストへの情報提供や助成、相談対応による支援を進めました。

(1) プラットホームを提供し、緩やかな相互ネットワークの形成を図る事業

① 文化芸術関係施設・機関ネットワーク会議「あかCネット」

当財団が事務局を担い、市立文化施設と文化芸術に関連する中間支援組織が、課題の共有やコラボレーションにつながる場として、7月と2月に会議を開催しました。令和7年度はアートパフォーマンスフェスタの共催だけでなく、相互の協力関係により各種事業の共同開催をスムーズに進めることができました。

〔参加団体〕 文化施設：市立天文科学館、市立文化博物館、市民会館、市立図書館
中間支援組織：明石コミュニティ創造協会、明石観光協会

② 文化芸術にかかる連合組織及び他組織との協カイベントの支援

○ 避難訓練コンサート「もしもコンサート中に…」

イベント開催中の災害発生に備えようと、明石コミュニティ創造協会と共同で初めて開催しました。非常階段の開錠や誘導人員の配置など様々な問題点が明らかになり、有意義な試みになりました。

〔開催日〕 6月15日(日)

〔実施場所〕 複合型交流拠点ウィズあかし(子午線ホール他)

〔参加者〕 聴衆80人、明石フィルジュニアオーケストラ団員及び保護者48人

○ あかし市民図書館「まちかどミニコンサート」へのアーティスト派遣

当財団の登録アーティストを派遣し、市民に生演奏を間近で聴ける機会を提供しました。

〔派遣実績〕 登録アーティスト 年間7組

〔聴衆数〕 各回30人

○ 文化博物館との連携

下記の2事業を文化博物館と連携して実施し、次代を担う人材の育成や地域の文化芸術活動の推進を図りました。

・あかし若手アートチャレンジ「自画像」

明石近郊の高校生・大学生が創作した94点の美術作品の発表を通じてお互いに交流しながら自分たちで展示を作り上げるなど、貴重な学びの機会となりました。

〔開催期間〕 9月28日(日)～10月5日(日)

・ケアでひらくミュージアム「みる きく はなす～対話・多言語で広がるアート」

博物館が地域の人にとって身近で、ケアの視点から新たな交流や対話を生み出せる場所となることを目指す活動の一環として開催されました。当日開かれた、明石出身の絵本作家・たなかしん氏の絵本を三か国語で読み聞かせるイベントに、当財団に登録する外国人2人を派遣するなど、連携した取り組みを行いました。

〔開催日〕 7月21日(月・祝)

〔読み聞かせイベント参加者〕 約50人

○ 事務局機能の担当

明石文化団体連合会、明石薪能の会、明石市文芸祭や明石市美術展などの事務局を担当し、関係団体と調整を行うことで市民の文化芸術活動を支援しました。

③ アートマネジメント講座

「おとなの博物館実習」展示に関する基本的な研修～より良い展示講座～

美術、音楽や演劇の企画から実施、広報などの実践的な技能のほか、アートと社会の関わりに至る、より質の高い芸術に触れる機会を提供できるよう、毎年テーマを変えて開催していま

す。今回は文化博物館と連携し、美術作品の展示について、その基礎から実演までを幅広く学びました。

[開催日] 1月21日(水)
[講師] 芦屋市立美術博物館学芸員ほか
[参加者] 文化施設の職員や一般市民37人

(2) 文化芸術活動に関する情報の発信や共有により市民の活動を支援していく事業

① 機関紙・広報紙の発行

○ 財団機関紙「創生」(年3回、各回3300部)

財団の事業内容のほか、市内の文化芸術に関するトピックスや文化財などを紹介し、市民の文化芸術活動を支援しました。

○ フリーペーパー「MEIBUNGEI NEWS」(年6回、各回3000部)

財団主催事業に加え、市内で開催される各種文化芸術事業やアーティスト等を紹介し、市民の芸術活動への参加を推進しました。

② 文化芸術情報の発信

○ メールマガジンの配信(毎月1回、約1000か所)

市内で開催される各種文化芸術事業や財団事業、活躍するアーティスト等を紹介し、市民の芸術活動への参加を推進しました。

○ ウェブサイトによる情報発信、SNS・動画の活用

最新の必要な情報をスムーズに発信できるよう、ウェブサイトの適時更新や魅力あるサイト構築に努めるとともに、SNSや動画の一層の活用に取り組みました。またLINE活用によるチケット販売や動画配信による利便性向上を図りました。

③ 文化芸術関係資料のデータベース化

地域の文化芸術の発展に意欲があるアーティストを登録し、あかし市民図書館でのミニコンサートをはじめ各種イベントで紹介するとともに、文化財や文化施設、民間の文化芸術活動に関係する各種教室など、明石の文化芸術関係資料のデータベースの1つとして、本財団ホームページでの公開を行いました。

(3) 文化芸術活動に関する相談への助言、斡旋および助成を行う事業

① 文化芸術振興助成事業

明石市内において文化芸術活動を行う団体・グループ、アーティストに対して、文化芸術事業経費の一部を助成することにより、市民や子どもたちが文化芸術を身近に触れ親しむ機会の増加を図るとともに、明石市内を活動拠点とするアーティストの支援に努めました。また、各助成事業の実地調査を行い、助成金の適正な執行に努めました。

○ 文化芸術振興活動助成金

広く市民が文化芸術活動へ参加、鑑賞できる事業や市民に文化芸術を普及啓発する事業の経費の一部を助成しました。

[助成団体数、金額] 10団体 合計556,000円

- ・明石ペンクラブ
- ・明石伝統芸能協会
- ・明石合唱連盟
- ・明石子午線ウインドオーケストラ
- ・明石の吹奏楽実行委員会
- ・はりまサックスフェスタ実行委員会
- ・AKP(明石ケーナプロジェクト)
- ・アート企画 dosso

- ・いぶき俳句会
- ・ムジカライゼ

○ 子ども文化芸術活動助成金

18歳以下の子どもたちが文化芸術を体験、鑑賞できる事業やアーティスト志望の若者を育成する事業の経費の一部を助成しました。

[助成団体数、金額] 6団体 合計289,000円

- ・明石おさかな普及協議会
- ・あかしDEきゅん吹ウインドオーケストラ
- ・ぬまたぬまこ
- ・明石市いけばな協会
- ・望月紅華
- ・MUSIC ZOO

② 相談への助言、斡旋等

文化芸術に関する相談や斡旋依頼に対しての助言やアーティストの紹介等を行うなかで、市民やアーティストが日頃感じている明石の文化芸術の課題やニーズの把握、また新たな事業展開につなげました。

③ 文化芸術活動伴走支援

文化芸術イベントを開催する市民団体やアーティストに費用の一部助成、広報などの伴走支援を行うことにより、文化芸術の振興、文化芸術の新たな魅力の創出につなげています。

今年度は「音楽のまちづくり」の取り組みとして毎年恒例となった TACO TACO JAZZ FESTIVAL のイベントに対して、伴走支援を行いました。

[対象事業] 2 Tenors Jazz Live 6月29日(日) 西部市民会館
TACO TACO JAZZ STREET 9月15日(月・祝) あかし市民広場
[伴走内容] 明石出身ミュージシャンとのセッションイベントの広報及び費用助成
[来場者] 計約240人

④ 後援名義の使用許可

後援名義使用申請54件に使用許可を出し、各種イベントや活動を支援しました。

公2 国際交流推進事業

多様性を尊重した国際性豊かな市民文化の創生に寄与するため、市民の国際交流や多文化共生の実現に向け、次のような事業を推進しました。

1 国際理解に関する事業

市民の国際交流への関心を高めることを目的に、世界各国の文化への理解を深める事業や在住外国人が日本文化を体験できる事業を行いました。また、市民や在住外国人に向けての広報活動にも力を入れました。

(1) 市民が国際理解を深めるための事業

① 国際理解セミナーの開催

異なる文化や生活習慣を持つ人々がお互いを尊重し、ともに暮らすことができる地域社会の実現に向けて、外国文化を理解するセミナーを開催しました。

[内 容] ○5月31日(土)「イスラムの文化を知ろう」

講師：ガフル里歌氏

○6月28日(土)「中国人が大切にしている24節気の養生法を学ぼう」

講師：森口玲衣氏

○8月2日(土)「ゲルから見えるモンゴル遊牧民の暮らし」

講師：堀田あゆみ氏

○2月28日(土) 英語で聞く国際理解セミナー

「The Irish Way of Life: Tea, Talk and Togetherness」

講師：イーファ・ウィーラン氏

[参加者] 計164人

② 子ども異文化体験

子どもたちが異文化を身近に感じ、多文化共生社会への理解を深めることができるように、親子で参加できるイベントを開催し外国の文化に楽しく触れる機会を提供しました。

[内 容] ○7月30日(水)「アフリカのティンガティンガアートを体験」

講師：中島あや子氏

○8月30日(土)「Hello World! モーリシャスってどんな国？」

講師：陸氏

[参加者] 計48人(子どもと保護者)

(2) 市民と外国人との日本文化体験・交流事業

① 日本文化鑑賞会・日本文化体験

市民と在住外国人と一緒に日本の伝統文化を体験・鑑賞する機会を提供し、交流を推進しました。本格的な伝統文化を鑑賞できる明石薪能は、雨天のため中止になりました。

○ 合同芸術祭参加(伝統文化の体験)

[開催日] 10月25日(土)～26日(日)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 市内在住外国人等 約10人

(3) 広報活動の推進

① 広報活動の推進

財団の機関紙、ウェブサイト、メールマガジン、SNSの活用を通じて、国際交流や多文化共生事業、国際交流活動をしている団体等に関する情報を広く紹介し、多様な活動の広報を進めました。

② 財団チラシ（多言語版）の作成

財団の活動や事業内容を在住外国人へ広く周知を図るため、外国人向けの国際交流事業を紹介するチラシやイベントのチラシを作成しました。

③ SNSの活用

財団の活動や事業を在住外国人に広く周知するとともに、在住外国人とのネットワーク形成にも繋がるよう、SNSの活用に努めました。

2 国際交流・協力に関する事業

市民の国際交流を推進するため、在住外国人や外国からの訪問団を支援するボランティアの養成を進めるとともに、国際交流・国際協力に取り組む地域の団体への活動助成を行いました。

(1) 国際交流事業ボランティア支援・養成事業

① ボランティア募集・登録・派遣事業

市民主体の国際交流活動や外国人住民との交流を推進するため、ボランティアを広く募集して登録を促し、派遣先からの要請に対応できるよう体制整備に努めました。

[登録者数] 約300人

[募集方法] 広報紙、ホームページなど

[派遣先] 市内・近隣の学校、地域など

[主なボランティア活動例]

- ・日本語学習支援
- ・翻訳・通訳
- ・ホームステイ・ホームビジット、ゲストティーチャー

② ボランティア養成講座

○ 日本語学習支援ボランティア養成講座・ブラッシュアップ講座

在住外国人の日本語学習を支援するボランティアの養成と、既存ボランティアの指導力向上を目的とする講座を開催しました。

[養成講座]

開催期間：令和8年1月～2月 4時間×全6回

参加者：20人

[ブラッシュアップ講座]

テーマ：『いっぽにほんごさんぽ 初級1』の文法・句型に詳しくなろう！

開催日：4月19日（土）、6月21日（土）

参加者：計53人

○ 英語翻訳・通訳ボランティア ブラッシュアップ講座

地域で生活する外国人を支える英語のボランティアに対して、英語力の維持向上を図るための講座を実施しました。

[開催期間] 5月～7月（全10回）

[参加者] 翻訳・通訳ボランティア 20人

○ 多言語ボランティア基礎講座

在住外国人の多様化に対応するため、英語以外での日常会話を中心とした基礎講座を実施しています。相手の母国や母語について学ぶことでより良い関係を構築しようとするもので、今年度は入門スペイン語と実践中国語の講座を開催しました。

[内容] ○『入門スペイン語とペルーの文化について学ぼう！』

開催期間：9月～10月（全6回）

受講者：13人

○『中国文化で学ぶ実践中国語会話』

開催期間：11月～12月（全5回）

受講者：14人

(2) 国際交流活動の協力支援事業

① 国際交流活動助成事業

青少年の国際交流活動や在住外国人児童の居場所づくりなど、市内において国際交流や多文化

共生に係る活動を行う団体を支援・促進するため、事業補助として助成金を交付しました。

[助成団体数、金額] 5団体 合計300,000円

- ・大久保日本語教室 みんな de にほんご
- ・西明石日本語教室
- ・特定非営利活動法人多文化センターまんまるあかし
- ・さくらにほんご教室
- ・一般社団法人真至誠会

(3) 姉妹都市・友好都市交流事業

令和7年度については、周年事業の挟間の年度ということもあり具体的な交流事業は実施しませんでした。必要に応じて適宜情報交換を行いました。

3 多文化共生に関する事業

言葉の壁や生活習慣の違いに戸惑う外国人住民に日本で生活に少しでも早く慣れてもらえるよう、日本語学習支援や多言語による情報の提供、生活の中で直面する困りごとの相談対応を行い、外国人住民が地域で安心して暮らせる環境整備や、地域の多文化共生づくりを進めました。

(1) 日本語学習支援事業

① 日本語学習「いろはクラブ」の運営

市内に在住する外国人が、研修を受けたボランティア講師から日常生活に必要な日本語をマンツーマンレッスンで学ぶ「いろはクラブ」、就学前幼児を連れて学習できる「和室いろは」を引き続き運営しました。最近は日常会話だけでなく、日本で長く生活することを前提に、日本語能力試験に向けた学習を望む学習者が増加しています。

[開催回数]	マンツーマンレッスン	延べ1,405回
	和室いろは	延べ29回
[指導者]	76人	
[学習者]	98人	

(2) 多言語による情報・相談事業

① 生活相談のサポート

市内に在住する外国人からの生活にかかる相談や問い合わせに対して、情報収集や適切な窓口の紹介など、多言語による生活相談をサポートしました。外国人住民の在留期間の長期化に伴って、子どもの保育や進学に関する行政手続きなどの相談が増加しています。

② SNSによる生活情報提供

市内に在住する外国人への生活面のサポートとして、フェイスブックやInstagram等を活用して、やさしい日本語や多言語による生活に役立つ情報等を提供しました。

(3) 地域における国際交流事業

① 異文化交流広場

地域で生活する外国人住民が登録ボランティアらを交えた場で気軽に交流し、相互理解を深める機会を提供しました。新たな試みとして、男性のみを対象とした交流会を開催しました。

[開催日]	○9月20日(土)	「やさしい日本語で話す交流会」
	○6月5日(木)	「羊毛フェルトで『だるま』を作ろう」
	○7月26日(土)	「外国人のための料理教室～大人のお子様ランチ」
	○10月31日(金)	「外国人のための料理教室～お好み焼きを作ろう！」
	○3月19日(木)	「男性の会 お好み焼きを作りましょう」
[参加者]	在住外国人、登録ボランティアなど	91人

② やさしい日本語講座

地域住民に在住外国人について理解を深めてもらうとともにお互いの交流を促進するため、外国人にとって理解しやすい「やさしい日本語講座」を明石市と連携して開催しました。

[開催日等]	○5月17日(土)	錦城コミセン「日常生活編」
	○6月21日(土)	衣川コミセン「日常生活編」
	○9月13日(土)	大蔵コミセン「日常生活編」
	○2月7日(土)	二見コミセン「災害編」
[参加者]	45人	

③ 外国人のための防災教室

近年頻発する自然災害についての基本的な知識を身につけてもらおうと、明石市と連携して

在住外国人を対象に「やさしい日本語」を使った防災講座を開きました。参加者がより主体的に学べるようワークショップや、簡易トイレの組み立て実演、ハラル対応保存食の試食配布などを実施し、いざというときに役立つ情報の提供に努めました。また参加者同士の交流も深めることができました。

〔開催日〕 7月5日（土）

〔参加者〕 36人（うち外国人住民28人）

④ 学校における多文化共生事業への支援

市内の中学・高校からの要請に応じて、国際交流や多文化共生を学ぶ意欲のある生徒を受け入れ、学校教育における取り組みを支援しました。

○トライやるウィークでの生徒受け入れ

〔受入期間〕 6月3日（火）～6日（金）

〔受入人数〕 野々池中学校2年生1人

○明石清水高校からのインターンシップ受け入れ

〔受入期間〕 7月23日（水）～7月30日（水）のうち計5日間

〔受入人数〕 同校2年生1人

⑤ 多言語絵本読み聞かせイベントへの登録外国人の派遣

文化博物館オープンデー企画「ケアでひらくミュージアム」での多言語絵本読み聞かせイベントに、韓国と台湾出身の登録外国人2人を派遣しました。

〔開催日〕 7月21日（月・祝）

〔参加者〕 約50人

II その他事業

他1 明石フィルハーモニー支援事業

明石フィルハーモニー管弦楽団及び明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラが演奏活動やアウトリーチ活動を計画的・効果的に行い、明石フィルハーモニー協会がオーケストラを自主的に運営していけるよう助言するとともに、演奏会場や練習会場、楽器倉庫の確保などのサポートを進めました。

Ⅲ 財団の管理運営に関する事項

1 理事会の概要

開催年月日	案件番号	案 件	可否
令和7年5月15日 (第48回)	議案第132号	令和6年度 事業報告について	可決
	議案第133号	令和6年度 決算報告について	可決
	議案第134号	定款の改正について	可決
	議案第135号	理事候補者の推薦について	可決
	議案第136号	第26回評議員会の開催について	可決
令和7年5月31日 (第49回)	議案第137号	理事長の選定について	可決
	議案第138号	副理事長の選定について	可決
	議案第139号	常務理事の選定について	可決
令和8年3月27日 (第50回)	議案第140号	令和8年度 事業計画について	可決
	議案第141号	令和8年度 収支予算について	可決
	議案第142号	資金調達及び設備投資の見込みについて	可決
	議案第143号	公益充実資金取扱規程の制定について	可決
	議案第144号	公益充実資金積立事業について	可決
	議案第145号	理事候補者の推薦について	可決
	議案第146号	書面による評議員会の開催について	可決
議案第147号	財団人事（事務局長）について	可決	

2 評議員会の概要

開催年月日	案件番号	案 件	可否
令和7年5月31日 (第26回)	議案第48号	令和6年度 決算について	可決
	議案第49号	定款の改正について	可決
	議案第50号	理事の選任について	可決
	報告第15号	令和6年度 事業報告について	了承

3 役員の状況（令和8年3月31日現在）

○理事

- ・理事長 崎野 圭子
- ・副理事長 岩崎 充臣
- ・常務理事 山口 知義
- ・理事 西尾 弘子、竹内 利江

○監事 山本 直樹、岸本 智洋

4 評議員の状況（令和8年3月31日現在）

- 評議員 藤野 一夫、望月 康恵、藤田 浩恵、中村 英夫

5 評議員選定委員会の状況（令和8年3月31日現在）

○委員 林 祝雄、永田 晋也、高岸 益子、山本 直樹、黒谷 友紀

6 職員数（令和8年3月31日現在）

○事務局長 1名

○事務局員 14名

7 行政官庁許可事項（届出事項・登記など）

異動年月日	申請・提出先	内 容
令和7年6月12日	神戸地方法務局	変更登記申請
令和7年6月30日	兵庫県知事	事業報告等の提出
令和7年7月15日	兵庫県知事	変更の届出
令和8年3月31日	兵庫県知事	事業計画書等の提出